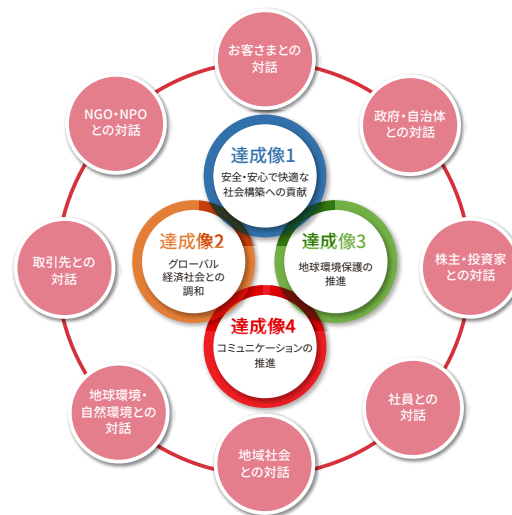


ステークホルダーとのコミュニケーション

達成像4

基本的な考え方

アンリツは事業活動全体を通じて、ステークホルダーへの積極的な情報開示と対話を行い、良好なパートナーシップを構築します。



お客さま

お客さまをはじめ、多くのステークホルダーの皆さまに当社の製品を紹介する各種展示会に積極的に参加しています。



Mobile World Congress 2017

■ Mobile World Congress 2017

スペイン・バルセロナで2017年2月に開催された世界最大級の携帯通信技術の展示会 Mobile World Congress 2017に出展しました。

2016年の204カ国、101,000名より多い208カ国から108,000名が来場、出展者数は2,300に上りました。今年のテーマは「The Next Element」。アンリツは、「Measure - Monitor - Monetize」をキーワードに、LTE-A Pro/5G、IoT/M2M、ネットワーク建設・保守、ネットワークモニタリングにフォーカスしたソリューションを紹介しました。

今後も最先端のソリューションをいち早く提供し続けることで、モバイル・ブロードバンド・サービスの発展に貢献していきます。

■ OFC 2017

2017年3月、アメリカのロサンゼルスコンベンションセンターで開催された光通信とネットワーク技術のグローバルカンファレンス Optical Fiber Communication Conference (OFC) に出展しました。アンリツブースでは、データセンター試験やモバイルネットワーク試験などのソリューションについてデモを交えて紹介しました。今後、データ通信トラフィック量の増大により、サーバーやネットワーク機器の通信速度はさらなる高速化が予測されており、アンリツはさまざまなソリューションの提供によって通信技術の進化を支えていきます。



OFC 2017

■ 国際食品工業展 FOOMA JAPAN 2016

2016年6月、国際食品工業展「FOOMA JAPAN 2016」が開催され、アンリツインフィビス(株)が出展しました。前回より出展企業・来場者数とも増加し、総来場者数が94,497名であったなか、アンリツインフィビスのブース来場者は、昨年より100人増加し約2,400名でした。



FOOMA JAPAN 2016

今回のブースは、背面ボードにグラフィックを多用し、直感的に市場やソリューションを想起できるように工夫を凝らしました。XR75シリーズX線検査機は、お客様の用途ごとにコーナーを分け、内容物の質のばらつきや欠品の検査を行うソリューションを紹介しました。また、小家族化や人手不足という社会課題に貢献する小型クリーンカップスケールにも多くの関心が寄せられました。

株主・投資家

株主・投資家の皆さまとの信頼関係を重視し、いただいたご意見を事業活動やIR活動の改善に役立てるために、双方向のコミュニケーションに努めながら積極的な情報開示を行っています。

■ ディスクロージャーポリシー(情報開示方針)

アンリツは、すべてのステークホルダーに対して、正しい情報を、その内容や開示環境の良し悪しにかかわらず、関連法規に従い、誠意ある対応をもって公正かつ積極的に開示します。

| 行動指針 |

1. 正しい情報を、
 - 明確でわかりやすく発信する。
 - 積極的に適時かつすみやかに発信する。
 - 広く平等に伝わるように発信する。
2. 情報管理を徹底し、インサイダー取引の未然防止に努める。

■ IR(投資家向け広報)活動の体制

アンリツは株主・投資家とのコミュニケーションを通して、企業価値を適正に評価いただき、企業価値向上や株主還元を通じた高い株主満足の実現を目指しています。そのために、IR部が主体となり、積極的なIR活動を実施しています。株主・投資家の声は、経営戦略会議、経営層が参加する情報開示委員会へフィードバックすることで、情報開示や事業活動の改善につなげています。



(2017年6月30日現在)



■ 外部評価

チャンネル・ニュース・アジア・サステナビリティ・ランキング

本ランキングは、シンガポールの英文メディア大手の「チャンネル・ニュース・アジア」、ESG評価機関のサステナリティックス社、CSRアジアがESG（環境・社会・ガバナンス）の幅広い観点から「持続可能な企業」をアジアの1,200社以上から上位100社を選出するものです。当社は42位を獲得しました。

モーニングスター社会的責任投資株価指数 (MS-SRI)

モーニングスター（株）が国内上場企業の中から社会性に優れた150社の企業を選定する社会的責任投資の株価指数「モーニングスター社会的責任投資株価指数 (MS-SRI)」の構成銘柄に選定されています。

SNAMサステナビリティ・インデックス

アンリツは、「SNAMサステナビリティ・インデックス」の構成銘柄に選定されています。同インデックスは、ESG（環境・社会・ガバナンス）の評価が高い企業に幅広く投資する、年金基金・機関投資家向けの責任投資プロダクトであり、長期的な観点から企業価値を評価することを通じて、長期投資家の資産形成に寄与することを目的とされたものです。

■ 2016年度から2017年度第1四半期までの活動

アンリツは、一般消費者とは直接の接点が少ない事業をグローバルに展開しているため、事業構造や収益を創出するしくみ、業績に影響を与える要因を株主・投資家の皆さまに正しくご理解いただくことを意識しながら、IR活動を実施しています。継続的な活動として、四半期ごとの決算説明会開催や国内外機関投資家との個別面談、統合レポートや事業報告書などの発行、ホームページを通じた情報開示や株主・投資家向けアンケート、外部ファイナンス情報サイトへのIR情報の掲載などを実施しています。



機関投資家向け決算説明会

2016年度から2017年5月までに、四半期ごとの決算開示や中期経営計画の進捗状況の説明を中心に情報開示を行っています。IR活動には、経営層が積極的に参加しています。国内外機関投資家との個別面談は、当社から投資家に積極的にアプローチしており、国内投資家215件、海外投資家94件の面談を実施しました。海外投資家に向けたIR活動として、国内でのカンファレンスに3回参加しました。これらの取り組みを通じて株主層の拡大に向け、幅広い投資家との積極的なコミュニケーションを行っています。このほか、IR専用のウェブサイトにてオンライン統合レポートを公開し、より透明性の高い情報公開を実現しました。



WEB

2017 アンリツレポート



WEB

株式・社債・格付情報

■ 株主の構成 (2017年3月31日現在)

株式・社債・格付情報については、左記のウェブサイトをご参照ください。

取引先さま

取引先さまとの信頼関係を強化し、相互の成長につなげていくことが重要と考えています。取引先さまの参画により強固なパートナーシップを構築していくこと、さらにサプライチェーン全体で社会の期待・要請に応えていくことを重視しています。

■ 取引先さま懇親会

2017年1月18日に取引先さまを招いた懇親会が開催され、海外の取引先さまを含む151社、292名の取引先さまにお集まりいただきました。5G/IoTをテーマに、グローバル・マーケットリーダーを目指すための方策や事業展開を説明するとともに、資材調達のグローバル体制のもと、協働と協創によるバリューチェーン拡大のために、さらなるパートナーシップ強化を取引先さまに呼びかけました。また、品質・納期・価格すべての面で優れた取引先さま表彰では、感謝状と盾、副賞を贈呈しました。さらに、社員の公募の中から選ばれたアンリツグループの今年の漢字、「輝」を披露しました。



取引先さま懇親会

■ パートナーQU (Quality Up) 提案活動を推進

取引先さまとのコミュニケーションツールとして、アンリツに対する改善案・要望点・ご意見などを提案いただく「パートナーQU(Quality Up)活動」を推進しています。調達に限らず、営業・技術・製造・サービス・安全衛生・環境・CSRなど幅広い分野での提案を受け付けており、活動を推進しサポートする協議会では、毎月いただいた提案を審議し、採否を決定するとともに表彰会社を決定しています。

さらに、半期に1度取引先さまを当社へお招きし、アンリツ資材調達基本方針や当期施策など説明する場を活用して、取引先さまを表彰する場を設けています。2016年度は、設計変更によるコスト削減や手配方法変更による納期改善など、68件の改善提案をいただき、このうち39件を採用しました。年間最優秀提案賞には海外取引先さまからのご提案が選ばれました。

■ コラボレーションルームの設置

エンジニアと取引先さまとのコミュニケーション活性化のため、社内にコラボレーションルームを開設しています。メーカー・代理店のセールスエンジニアに日替わりで駐在していただき、新たなソリューションを生み出せる環境を整備しています。

NGO/NPO



WEB

特定非営利活動法人
ジャパン・プラットフォーム

「東日本大震災」発生から6年が経ちましたが、被災地の復興には課題が残り、今もなおさまざまな支援が必要とされています。アンリツでは、東北アンリツ（株）の所在地でもある福島県を支援したいという考えの下、復興活動の一助となることを願い、有志による支援金の募集を2016年12月20日から2017年1月20日まで実施しました。集められた支援金は、認定NPO法人 ジャパン・プラットフォーム（JPF）へ寄付され、JPFが審査・認定した福島県の被災者支援事業を行う団体に対する助成金として使われています。

今後もグローバルに展開するNGO/NPOと協働し、社会貢献に寄与していきます。

社員



郡山震災写真展

■ 東日本大震災の写真展の開催

アンリツグループも福島県郡山市にある東北アンリツ・郡山事業所が被災し、大きな影響を受けました。震災から時間が経ち、ともすれば忘れがちになる当時を振り返り、記憶を風化させないようにするため、2016年3月の本社展示に続き、2016年4月に東北アンリツ・郡山事業所で写真の展示を行いました。

アンリツOBで写真家の時田まさよしさんの写真約20点と、社内報などを通して取材した社内の記録を中心とした構成です。これに加え、東北アンリツが企画した展示コーナーや「家庭でできるリスク対応」をテーマに、地震を含めた防災全般に対する心得や安全対策、ライフライン停止や避難への備えなどを掲示しました。